

令和8年度の重点事業とシンボルプロジェクト

1. 令和8年度の基本的な方向性

- (1) 第3次雲南市総合計画に掲げる将来像「えすこな 雲南市」の実現に向け、これまでの成果と課題を踏まえ、将来につながる取組を着実に前進させていきます。
- (2) 限られた行政資源を有効活用する観点から、効果の高い取組に重点化し、施策間・事業間の連携を強化していきます。
- (3) すべての取組において、基本理念とする「変わらず、変える」（受け継いだ価値は変わらず大切にし、社会情勢や課題に応じて変えるべきものは変えていく）という姿勢を共有し、多様な人材や地域資源を最大限にいかす「総働」での実現を図ります。

2. 施策の推進にあたっての基本的な考え方

(1) 総合計画の着実な推進

総合計画に掲げる12の施策の基本方針に基づく取組を着実に進めます。

(2) 重点テーマに基づく「重点事業」

これまでの振り返り評価を踏まえ、各施策において重点的に取り組む事業（重点事業）を設定し、積極的に推進することで施策効果の最大化を図ります。

(3) 施策横断の「シンボルプロジェクト」による相乗効果の発揮

個別施策にとどまらず、3つの柱ごとに分野横断的・中長期的な視点で課題や大切にすべき考え（コアコンセプト）を整理し、将来像の実現に取り組む「シンボルプロジェクト」を展開します。

これにより各施策における重点事業の相乗効果を生み出し、全体の取組を前に進める推進力とします。

3. 令和8年度に向けた主な課題（1）

1) 人口減少社会における地域の持続性の確保

人口減少が進む中であっても、地域活動や産業、暮らしを将来にわたって維持していくため、分野を超えた人材育成に取り組み、地域を支える担い手の確保を進めていく必要があります。

2) 地域づくりを担う人材の育成と継承

地域自主組織や住民主体の取組を将来に引き継いでいくため、次世代の担い手育成や、多様な関わり方を生み出す仕組みづくりが必要となっています。

3) 誰もが安心して暮らせる生活基盤の維持

人口減少や高齢化が進む中、公共交通の利便性の確保や、道路・水道など生活インフラの老朽化への対応が重要性を増しています。公共交通の再編に向けた検討を進めるとともに、将来を見据えた計画的なインフラの維持・更新に取り組んでいく必要があります。

4) 高齢化が進む中での支え合いと地域のつながりの維持

高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中、医療・介護・福祉の連携強化に加え、見守りや居場所づくりなど、地域で支え合う共助の仕組みを時代に合わせたかたちへと変化させていくことが求められています。

3. 令和8年度に向けた主な課題（2）

5) 若者・子育て世代に選ばれる暮らしの実現

進学や就職、結婚・子育ての節目においても雲南市で暮らし続けたい、戻ってきたいと思えるよう、仕事・住まい・子育て環境を一体的に高めるとともに、子育てしながら働きやすい環境づくりに向けて市内事業者との連携を深めていくことが求められています。

6) 地域の温もりの中で学びあう教育環境（学びの場）を守り育てる

教育資源（ヒト・モノ・コト）の先細りが予測される中、確かな学力や社会性を育み、夢や希望を抱くことのできる、雲南ならではの温もりある教育環境（学びの場）を将来にわたって守り育てていく必要があります。

7) 地域経済の活力維持と新たなチャレンジの創出

地域経済の活力を将来につなげていくため、起業や事業承継など新たな仕事づくりへのチャレンジを支援するとともに、地場企業の経営基盤強化（稼ぐ力の向上や人材確保など）に取り組んでいく必要があります。

これらの課題に対応していくため、令和8年度は、各施策における重点事業への注力と、分野横断で取り組むシンボルプロジェクトの展開により、「えすこな雲南市」の実現に向けた取組を加速させていきます。

4. 令和8年度の重点事業

【施策_01】 みんなが主役の自治のまち

《協働／自治／コミュニティ》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 今後の地域自主組織や自治会のあり方を検討する
- 地域づくり人材の発掘・育成のための講座を継続的に開催

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
住民同士による「共助」の再構築	事業名	地域づくり活動等交付金	事業費
	事業概要	地域自主組織の地域づくり活動を支援するための交付金を交付する。	331,745 千円
	事業名	幡屋交流センター整備事業	事業費
	事業概要	幡屋地区の地域づくり拠点となる交流センターの建て替え整備を行う。	160,556 千円
	事業名	共助インフラ補完創出事業	事業費
	事業概要	住民同士の新たな関わり合いを創出し、共助の基盤づくりを進める。	40,535 千円
地域の魅力をいかした関係人口づくり	事業名	つながり創出・拡大事業	事業費
	事業概要	雲南にご縁のある都市部在住者のコミュニティづくりを進め、関係人口の創出と人材還流の拡大をめざす。	3,722 千円
若者や女性が活躍しやすい環境づくり	事業名	持続可能型地域推進事業	事業費
	事業概要	研修会等を通じて、地域活動に関わる関係者を増やし、地域の担い手確保に取り組む。	1,607 千円

【施策_03】 みんながずっと元気なまち

《保健／医療／福祉》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 働き盛り世代への情報発信による健康づくりへの取組の促進
- 即戦力人材の獲得と次世代人材の育成を視野に入れた持続可能な人材確保策の検討・実施

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
地域等との協働による健康づくりの推進	事業名	健康増進事業	事業費
	事業概要	地域ぐるみで塩分摂取量の低減に取り組む「うんなん愛の減塩プロジェクト」を推進し、市民主体の健康づくりを進める。	3,562 千円
	事業名	国保保健事業 （中事業：保健事業）	事業費
	事業概要	国保加入者の健（検）診受診率を向上させ、疾病の早期発見・治療を図る。	19,782 千円
地域医療・介護・福祉サービスの担い手確保	事業名	介護人材確保対策事業	事業費
	事業概要	新規の介護就業者に就労継続奨励金を交付する。	1,200 千円
	事業名	医療職人材確保事業	事業費
	事業概要	県内の医療関係高等教育機関に進学を希望する学生を市から推薦し、地域医療人材の確保を図る。	126 千円
地域のつながりの維持と支え合い体制の充実	事業名	障がいへの理解・啓発事業 （中事業：理解促進研修・啓発事業）	事業費
	事業概要	障がいへの理解の啓発と、障がいの特性に応じたコミュニケーション手段にかかる理解の促進と普及を図る。	881 千円

【施策_04】 みんなで子どもを育てるまち <<結婚／出産／子育て>>

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 地域・民間団体等と連携し、子育てしやすい環境を創出する

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
雲南らしさをいかした子育て環境の整備	事業名	保護者負担軽減事業	事業費
	事業概要	子育て世代の負担軽減を図るため、市内在住3歳以上のお子さんの副食費（給食費のおかず代）の無償化等を行う。	9,330 千円
	事業名	子育て世帯訪問支援事業 <新規>	事業費
	事業概要	家事や子育て等に不安や負担を抱える支援が必要な子育て世帯に対し、訪問員が家事や育児の支援を行う。	882 千円
市内事業所の子育て環境の充実支援	事業名	女性デジタル人材育成事業 <拡充> (中事業：デジタル人材育成・確保支援事業)	事業費
	事業概要	女性が働きやすい環境づくりを進めるため、女性のデジタル人材育成に加え、事業所の意識改革を促すセミナー開催及びDX導入支援に取り組む。 【拡充点】事業所向けセミナーとDX導入支援の実施	8,300 千円

【施策_05】 人の輪が広がるまち

《移住定住／人材還流／関係人口》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 高校生等の若者世代へ、雲南市の暮らしや仕事の魅力を伝え、つながりを強化
- 雲南で暮らし働きたい若者世代がキャリア相談できる場の提供

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
	事業名		事業費
市内就業に向けた対策の強化（多様な働く場・働き方の創出等）	事業名	高校卒業生とのつながり創出事業 〈拡充〉	事業費
	事業概要	市内高校卒業生のLINE登録者向けに様々な情報を発信すると共に、キャリア相談やオンラインでの企業説明会を実施する。 【拡充点】Webサイトの運用を開始し情報発信を強化	9,039 千円
二地域居住や短期滞在など多様なライフスタイルに合わせた滞在環境づくり	事業名	空き家活用促進支援事業	事業費
	事業概要	地域自主組織や民間事業者と連携し、空き家相談やマッチング、空き家活用の勉強会等を実施し、空き家を活用した移住定住の推進を図る。	2,850 千円

【施策_06】心の豊かさを実感できるまち <<スポーツ／文化>>

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 多くの市民がスポーツや文化芸術活動に参加できる環境の整備
- 市民共通の財産である文化財の保存と活用

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
スポーツや文化に親しめる環境づくり	事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業 <拡充>	事業費
	事業概要	島根かみあり国スポ、全スポ2030に向け雲南市準備委員会を設立し、関係機関の皆様とともに開催準備を進める。 【拡充点】準備委員会の設立	4,870 千円
地域独自の伝統芸能や自主的な文化活動を支える仕組みや交流機会の創出	事業名	加茂岩倉遺跡銅鐸出土30周年記念事業 <新規>	事業費
	事業概要	出土30周年を記念とするイベントやシンポジウムを開催し、市内の歴史文化の価値を高める。	3,552 千円

【施策_09】 みんながみんなを大切にすまち ‹‹平和と人権／多様性の尊重／多文化共生››

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 自治会単位での人権啓発事業の推進
- 地域自主組織と連携した外国人住民との相互理解を深めるための研修会等の実施

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
	事業名		事業費
家庭、学校、地域、職場での様々な体験・学習機会の創出	事業名	地域女性活躍推進事業	
	事業概要	互いに認め合い自分らしく暮らせるまちをめざして、男女共同参画の視点に立った職場環境改善に取り組む事業所をサポートし、誰もが働きやすい職場環境を創出していく。	957 千円
集落単位で人権意識、多文化共生など多様性への理解を浸透させる草の根プロジェクトの推進	事業名	多文化共生推進事業	事業費
	事業概要	市内在住の外国籍住民の相談窓口を開設し、生活面での支援や翻訳機を活用した通訳等を実施し、地域と一緒に多文化共生の理解促進を進める。	6,062 千円

【施策_10】 挑戦し活力を産み出すまち

《 農林業／商工業／経済 》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 農林業事業者・商工業事業者の連携による地域資源の活用と情報発信の強化

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
市内事業者の経営基盤強化に向けた支援（人材確保・DX推進等）	事業名	ローカルゼブラ企業成長促進事業 〈新規〉 (中事業：起業創業・経営支援事業)	事業費
	事業概要	市内事業所の人手不足とデジタル化を支援するため、兼業副業人材の活用を促進し、事業者の持続的成長を後押しする。	5,500 千円
	事業名	有害鳥獣捕獲奨励事業 〈拡充〉 (中事業：有害鳥獣捕獲奨励事業／ニホンザル対策モデル事業)	事業費
	事業概要	農作物被害を減らすため有害鳥獣駆除班に報償金を交付する。 【拡充点】新たにニホンザル対策を実施	39,340 千円
市内経済循環の推進	事業名	中小企業者等物価高騰対応支援事業 〈新規〉	事業費
	事業概要	物価高騰の影響を受けている事業所に対し、売上・利益確保、生産性向上、就業改善に向けた取り組みを支援する。	45,600 千円
	事業名	農地保全有効活用推進事業 〈新規〉 (中事業：農業総務管理事業)	事業費
	事業概要	中山間地域の管理不全の農地の対策として、農地管理法人等を設立し、農地の担い手とのマッチングを図る。	250 千円
多様な企業の誘致やスタートアップ企業の支援	事業名	企業誘致推進事業 (中事業：企業立地促進対策事業)	事業費
	事業概要	若者・女性が好む事務系職場を誘致し、雇用の拡大を図る。	5,500 千円
産直振興・地産地消の推進	事業名	産直振興支援補助金 (中事業：産直振興補助金／漬物製造等継続支援補助金)	事業費
	事業概要	産直振興や漬物製造を支援する補助金を交付する。	1,550 千円

【施策_11】 みんなのたからを誇るまち

《観光／ブランディング》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 地域の連携・協力による体験コンテンツや新たな観光商品の造成による収益性の向上

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
豊かな自然環境、歴史文化、食や人の魅力をいかした観光まちづくりの推進	事業名	地域資源を活用した情報発信事業	事業費
	事業概要	神楽、たたら、瑞風などの地域資源をいかした情報発信を積極的に推進し、市外観光客の増加を図る。	8,759 千円
	事業名	観光まちづくり推進支援事業 （中事業：雲南市観光協会補助金）	事業費
	事業概要	地域と一体となった観光まちづくりを推進するため、観光協会と連携し、地域資源をいかした観光コンテンツの造成等を行う。	46,735 千円
外国人観光客など多様な旅行スタイルに応じた受け入れ体制・環境の整備	事業名	宿泊・周遊促進支援事業 （中事業：宿泊・観光消費喚起物価高騰支援事業）	事業費
	事業概要	市内宿泊者を確保し観光消費額拡大を図るため、市内宿泊者への助成や空港などからの二次交通手段確保のための助成を行う。	19,890 千円

【施策_12】 自然の恵みがめぐるまち

《自然環境／エネルギー／循環型農業》

ネクストアクション（R7施策評価を踏まえたR8年度のアクション）

- 公共施設へ太陽光発電・蓄電池設備を導入し理解促進を進める
- キーロコンポストや廃食油回収など学習会を通じて行動変容を促す

施策の重点テーマ	令和8年度の重点事業		
地産地消による再生可能エネルギーの推進	事業名	太陽光・蓄電池導入支援事業 (中事業：新エネルギー機器導入補助金)	事業費
	事業概要	再生可能エネルギーの導入促進を図るため、太陽光発電及び蓄電池取得に対する補助金を交付する。	3,000千円
ごみの適正処理と減量化・リサイクルの推進	事業名	脱炭素社会構築推進事業	事業費
	事業概要	脱炭素社会の実現に向けて、キーロコンポストや廃食油回収を通じて市民の行動変容を促す。	2,730千円
環境に配慮した農業の推進	事業名	環境保全型農業直接支払制度交付金	事業費
	事業概要	環境に配慮した農業の実践に対し交付金を交付し、地球温暖化対策や生物多様性の保全を通じた持続可能な農業を推進する。	4,676千円

5. シンボルプロジェクト

(1) シンボルプロジェクトの位置づけ

基本計画の全体像

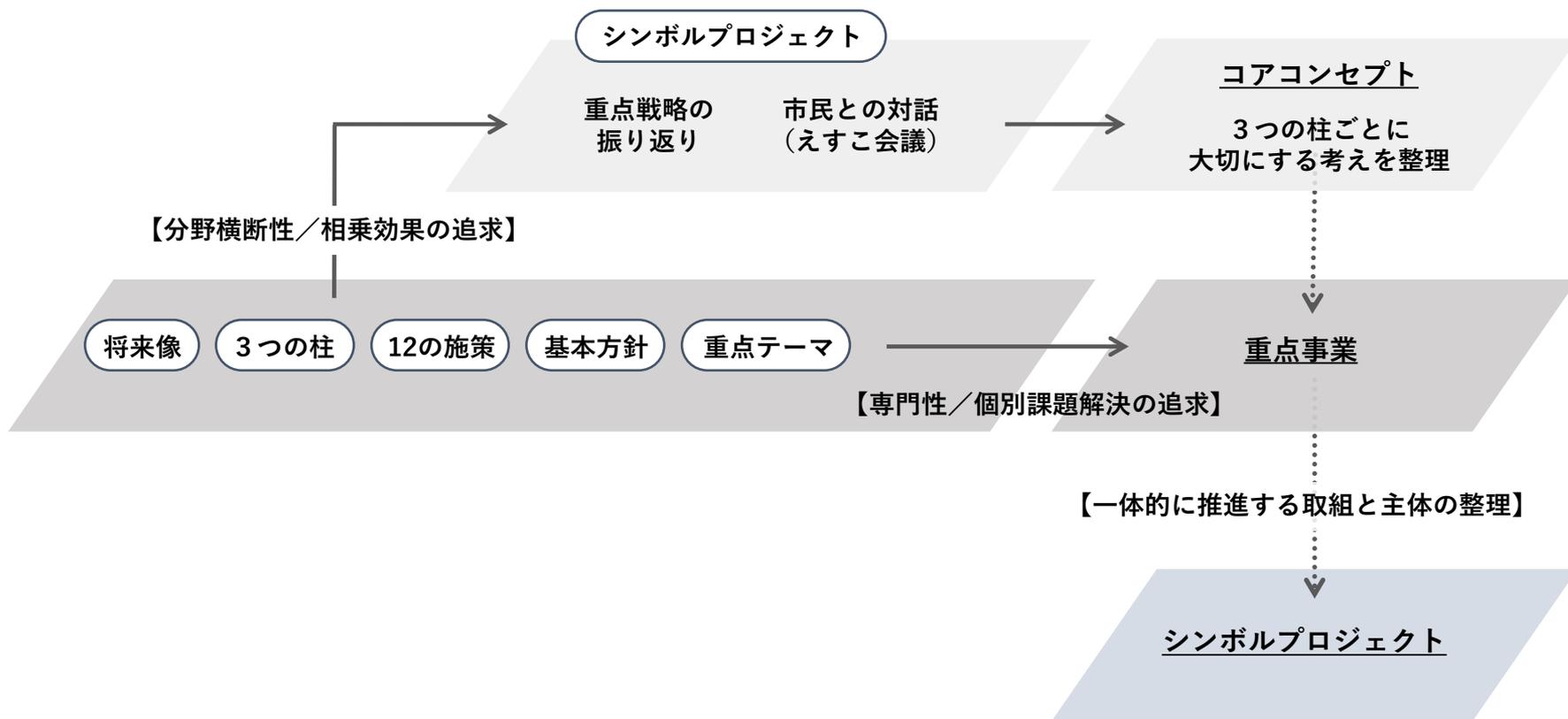


重点事業のうち、施策横断で成果を高める取組であり、「えすこな雲南市」の実現の推進力となるもの。

- 3つの柱ごとに課題・コアコンセプト等を整理し、分野横断的、中長期的な視点で取り組む。
- 各施策における重点事業の相乗効果を生み出し、全体を前に進める推進力とする。

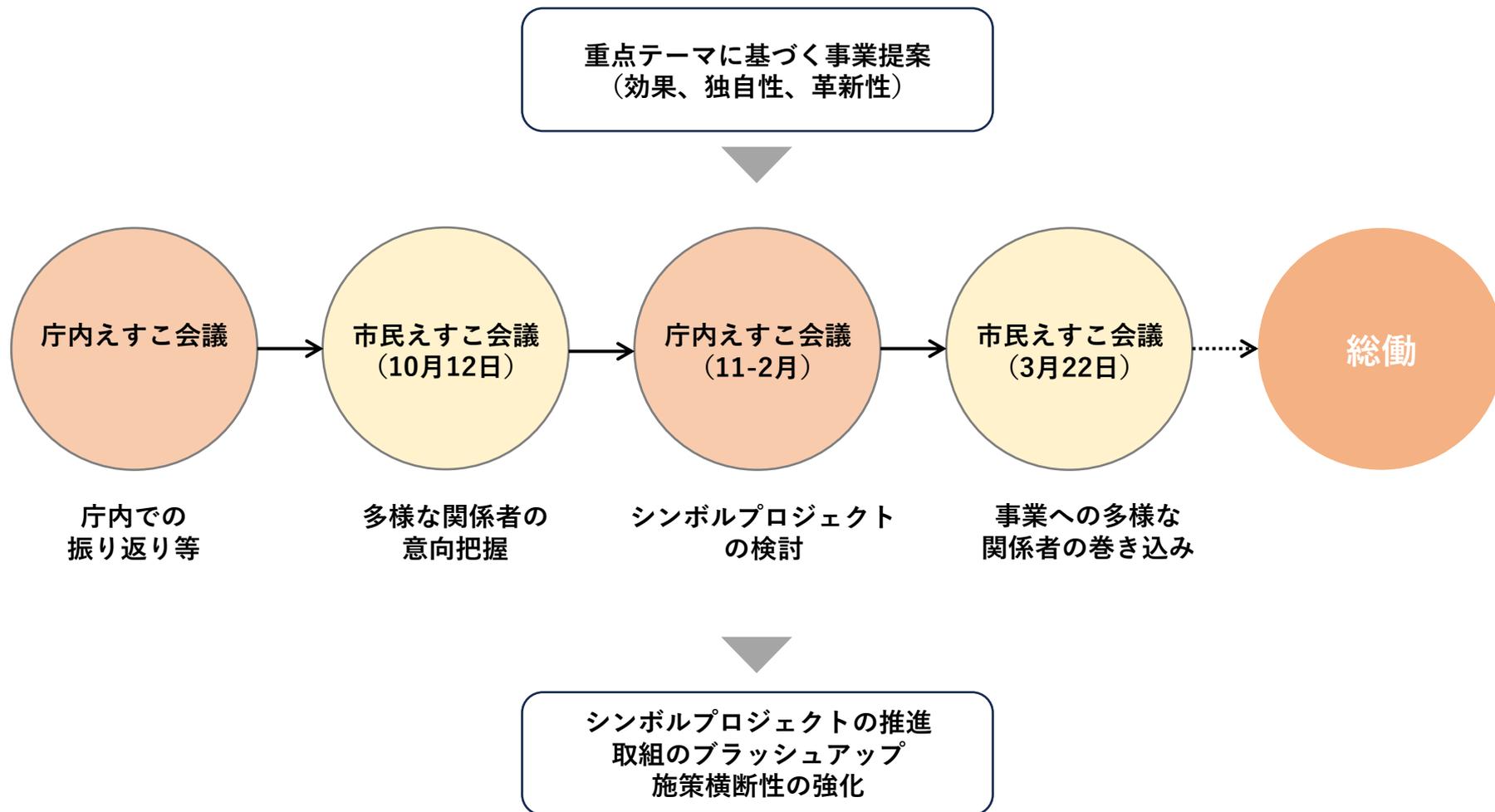
(2) シンボルプロジェクトの構造

各施策における重点事業の検討に加え、3つの柱ごとに**分野横断・中長期的な視点**で課題や大切にすべき考え（**コアコンセプト**）を検討。これらの検討結果を重ね合わせ、シンボルプロジェクトとして一体的に推進する取組、官民連携の推進体制を整理。



(3) 総働の実現に向けた検討プロセス

これまでの各部局、各施策を中心とした検討プロセスを、「市民えすこ会議」「庁内えすこ会議」を通じて多様な関係者へ開いていく。これにより、施策の横断性を高めるとともに、総働を実現する。



(4) コアコンセプト (案)

これまでの重点戦略の振り返りから、3つの柱ごとの課題は以下のように整理される。これらに基づき、シンボルプロジェクトの中心となる考え・価値観となるコアコンセプトを設定。

暮らす 雲南の暮らしの再構築

成果

- 地域自主組織を中心に、地域住民の共助による助け合いの取組を進め、地域で支え合う土壌を形成。
- 地域ごとの創意工夫による住民同士の生活支援の実践。
- 関係人口など新たな自治の担い手の台頭。

問題

- 住民同士のつながりの希薄化。
- 人口減少、高齢化の進行による担い手不足。
- 耕作放棄地や空き家の増加、草刈、除雪、獣害対策等の生活課題への対応力の低下。

課題

- 自治の基盤となる住民同士のつながりを強化し、地域で支え合う仕組みの再構築が必要。
- 関係人口、事業者など住民以外の力を自治にいかす仕組みづくりが必要。

コアコンセプト

共創型自治の推進

地域自主組織と地域内外の多様な主体、行政が密に連携し、人と人がつながるあたたかな暮らしの場を共創する。

育む 雲南を学ぶ・いかす

成果

- ふるさと教育、キャリア教育の着実な進化。
- こどもたちの地域への愛着・誇りの涵養。
- チャレンジの文化の定着と新たな担い手の誕生。
- 高校生・大学生が地域に関わる土台の構築。

問題

- 人口減少、高齢化の進行による学びの資源（ヒト・モノ・コト）の縮小化。
- 中高生・大学生等の学びの受け皿となる地域の活力低下。
- 学びの場・機会が個々で完結し、効果が限定的。

課題

- 雲南で育まれた人が地域の担い手となり、未来の担い手を育む循環モデルを構築することが必要。
- 学びの場・機会をつなぎ、雲南市全体を学びの場とする仕組みづくりが必要。

コアコンセプト

みんなの共育環境の創出

世代、分野、立場を超えて学びと実践が交わり、一人ひとりの成長が次の担い手へと自然につながっていく循環を育む。

創る 雲南ならではの価値創出

成果

- 独自の技術や地域資源をいかした商品・サービスの開発・販売を担う企業が存在。
- 社会課題解決型のリーディングカンパニーの誕生。
- 当たり前として地域活動を実践する文化。

問題

- 企業の魅力が伝わらず、必要な人材を確保できない。後継者不足。
- 原材料、人件費の高騰による収益環境の悪化。
- 経営基盤の弱い個人事業主が多く、新しい挑戦に向けた余力が無い。

課題

- 雲南の産業を支える事業者が持つ価値を評価し、高めることで個々の成長へとつなげていく必要。
- 個社で対応が難しい経営課題を企業間連携で補う仕組みづくりが必要。

コアコンセプト

地域と経済の好循環の形成 (えすこカンパニーの成長支援)

経済成長と環境配慮・地域貢献を両立し、地域との関係の中で好循環を生み、応援される元気な事業者を増やす。

(5) プロジェクト① 共創型自治の推進

めざす姿

つながりという土壌を育てながら、生活者の声を拾い、地域自主組織を中心に地域内外の主体が共創し、暮らしを支えるサービスが持続的に提供されている。

大切にしたい要素

つながりを育み、ともに支え合う

- ・地域内外の人が役割を持って関われる関係性を育て、顔の見えるつながりを広げる。
- ・生活者の小さな声や違和感が、日常の中で自然に集まり、共有される状態をつくる。

地域自主組織を中心とする協働の仕組み

- ・地域自主組織がコーディネート役として機能し、人、情報、取組をつなぐ。
- ・地域内外の主体が強みを持ち寄り、役割分担しながら共創する仕組みを築く。

暮らしの声を、持続するサービスへ

- ・生活の中の困りごとや課題を「サービス」として形にし、提供し続ける。
- ・一人（誰か）の頑張りに依拠せず、関りが重なって支える姿を大切にする。

小さな困りごとを受け止め、安心につなぐ

- ・小さな困りごとが早い段階で共有され、解消につながる関係性を広げる。
- ・地域で暮らし続けられるという安心感を、日常の中に積み重ねていく。

取組概要

- 地域自主組織を基盤とした自治・共助の仕組みを再構築する。住民同士のつながりを強化すると共に、事業者や関係人口の力をいかす「共創型自治」を推進する。
- このため、地域自主組織の現状・課題を整理し、多様な関係者との対話の場をもちながら今後のあり方を検討していく。
- また、地域主体による事業者・関係人口との共創を支援し、好事例をモデル化・横展開していく。

官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進



(6) プロジェクト② みんなの共育環境の創出

めざす姿 「雲南らしさ」を大切に、こども・若者・大人が互いに学び手・教え手となりながら、自立した社会性のある人が育ち、学びを通じた成長がまち全体に広がり続けている。

大切にしたい要素

地域の温もりを土台に、とも（共）に育つ

- ・雲南に息づく人と人とのつながりや温もりを、学びの出発点として大切にする。
- ・教える・教えられるという関係性でなく、世代や立場を超えて関わり合い、互いに学び合う。

出会いと対話から学びを育む

- ・あらゆるヒト・モノ・コトとの出会いを大切にする。
- ・安心して話し、聴き合い、違いを受け止める対話（語り合い）を通じて、気づきや問いを育み、学びの循環を深めていく。

学びをひらく

- ・学びや挑戦を個の成長や経験にとどめず、共有し、地域の知恵や力として育てる。
- ・誰かの一步や実践を後押しする風土を大切に、世代を超えて育ちが循環する関係性を紡ぐ。

学びを楽しみながら編み直す 一変わらず、変える一

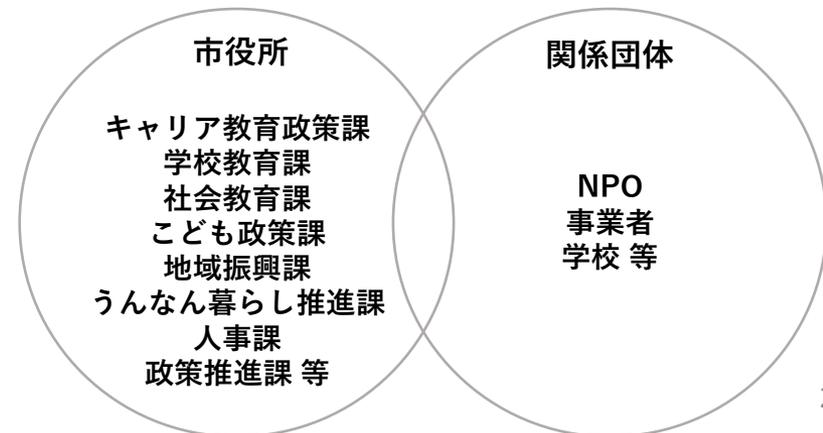
- ・社会の変化や担い手の状況を踏まえ、学びの場や関わり方を未来志向で柔軟に編み直していく。
- ・無理なく関わり続けられることを大切に、参加したくなる、続けたいくなる学びの場を育む。

取組概要

- 『夢』発見プログラムをはじめとする雲南らしさを体現する学びのコンテンツやプロセスの充実を図りながら、学びを起点にこどもの挑戦を育む共育環境づくりを進める。
- 地域とともにある学校づくりを軸に、学校教育・社会教育、若者の挑戦、住民自治の実践などをつなぎ、学びをひらくコーディネート機能の充実や担い手育成を進める。
- 日常の暮らしの中にある学びを大切にしながら、社会教育の視点を重ね、生涯にわたる学びのあり方を捉え直すとともに、多様な人の挑戦を学びとして育み、学び・経験・人が地域に還り次の挑戦へとつながる共育環境づくりに取り組む。

官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進



(7) プロジェクト③ 地域と経済の好循環の形成（えすこカンパニーの成長支援）

めざす姿

市内企業が自らの事業に自信と誇りを持ち、地域や企業同士のつながりの中で活躍し、その姿への共感を通じてファン・担い手・支援者が増え、地域と経済の好循環が生まれている。

大切にしたい要素

強みを磨き、企業の稼ぐ力を育てる

- ・ 自社の強みや付加価値を言葉にし、顧客に伝えられる力を高める。
- ・ 事業の磨き上げを通じて、安定的に価値を生み出し続ける企業を増やす。

人が集い、育つ働く場をつくる

- ・ 若者や移住人材が安心して働き続けられる、魅力ある職場環境を整える。
- ・ 後継者を含め、企業の未来を支える必要な人材が自然と集まる流れを生み出す。

つながりを力に、企業の連携をひらく

- ・ 企業同士がつながり、個社では対応が難しい課題に連携して取り組む動きを広げる。
- ・ 市内企業間での取引や協働を通じて、地域経済の好循環を生み出す。

地域に根ざし、信頼される企業を育む

- ・ 地域の困りごとを事業の機会として捉え、解決につなげる取組を生み出す。
- ・ 地域住民が企業の魅力を語り、応援したくなる関係性を築く。

取組概要

- 雲南の産業経済を支える地場企業の持続的な成長支援に取り組む。
- 市内企業の実態把握や若手経営者等との勉強会等を通じて、経済成長と環境配慮・地域貢献を両立する「えすこカンパニー（雲南版ローカルゼブラ）」の姿を明確化する。
- 上記を踏まえて、認証制度による企業価値の見える化・発信や商工会・金融機関等と連携した資金・人材面での支援策の検討を進め、企業間連携を促し、地域に応援される企業の成長を後押しする。

官民連携の推進体制

※定期的に関係者による協議の場をもち、取組の具体化や進捗共有、民間の動きを呼び込み、官民一体で推進

